



みどり
水と里 ネットしんじょう

理事長 あいさつ



新庄土地改良区
理事長 佐藤 喜代志

区報の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、日頃より当改良区の運営、事業の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去年は、記録的な暖冬少雪に加え、高温少雨も続き中小河川の水は枯渇し、最上川の水位も非常に低く、用水不足から夏季の大干ばつが懸念されました。しかし、7月中旬ごろから雨が降り、一安心した矢先、7月25日と26日には記録的な豪雨災害に見舞われることとなりました。今回の豪雨災害で被災されたすべての皆様、農地や農作物への被害を受けた組合員や関係者の皆様に、心からお見舞い申し上げます。この豪雨災害では、各地域で大規模な法面崩落、河川や排水路の氾濫による土砂堆積及び溝畔の崩壊、排水路への土砂堆積等、数百か所にわたる被害が発生しました。これらについては、各地域保全会や維持管理委員会の役員の皆様が、迅速に被災状況を確認し、応急手当を施していただき、心より感謝を申し上げます。本復旧につきましては、多面的機能支払交付金、国の災害復旧事業、山形県及び市町村の災害復旧単独事業等を最大限に有効活用し、実施していくこととなりますが、改良区としてもできる限りの継続的な支援を行ってまいります。組合員の皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、去年は米の買い取り価格が上昇し、組合員の皆様にとっては喜ばしいニュースとなったのではないのでしょうか。近年、天候不順や肥料、農薬、燃料の価格高騰に悩まされてきましたが、今回の価格上昇は、皆様の長年の努力が少しずつ実を結んだ結果だと感じております。こうした価格上昇により、より多くの農家が安定した経

営を続けやすくなるため、今後も安定した買い取り価格が続くことを期待しています。米作りにおいて、安定的な用水供給は不可欠です。そのため、用水を供給する施設の維持管理が重要となります。安定した収穫量を確保するためにも、今後とも施設の定期的な点検・修繕を行い、用水の安定供給に尽力してまいります。

ここで、現在の基幹水利施設更新事業の進捗状況を報告いたします。令和14年度国営二期事業着工を目指して、地域整備方向検討調査を進めております。更新事業では、地区内の既存施設の更なる有効利用や反復施設の整備、機械設備の高効率化を図り、清水揚水機場への依存度を軽減し、管理費の節減につながるような計画を策定できるよう議論を重ねているところです。緊急性の高い施設の更新整備については、令和6年度より県営水利施設等保全高度化事業新庄2地区で早期対応しております。緊急時の対応も想定した更新事業を継続できるように国・県・市町村等の関係機関との連携を密にし、取り組んでまいります。

また、平成30年度に事業が始まりました、高壇地区農地整備事業が令和7年度をもって、いよいよ事業完了の運びとなります。事業構想や地元の合意形成、調査設計作業を含め、長きにわたり事業推進にご尽力された地元関係者の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

最後になりますが、総代の皆様、関係機関との連携のもと、役職員一丸となって、適正な運営と着実な事業推進に努めてまいります。今後とも組合員の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年が平穏で実り多き年となりますよう、また皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

